



皆さんこんにちは！
 地域おこし協力隊の星野です。
 今月の集落支援だよりでは、令和4年の振り返りや私の雪国デビューの様子などについてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当
 ほしの 星野 壮祐 隊員

令和4年の振り返り

私が西会津町に来て、早くも8カ月が経ちました。そこで今回は令和4年を振り返って行こうと思います。

春には、武蔵野大学や東京大学の学生と共に奥川地区中町集落の人足に参加し、集落支援拠点施設「結」の管理人としての初めての業務となりました。それから夏、秋と大学との交流が続ぎ、美術大生や医療系の学生など学部も多岐にわたりました。活動内容も田植えや稲刈り、集落内の訪問など田舎ならではの内容で、学生たちも楽しそうに参加してくれました。孫世代の



人足の様子

若者との交流を通し、地域住民の皆さんが若返ったように喜ぶ姿が印象的でした。

また、これまで毎年関係が続けてきた福島大学は今年も当町に訪れ集落の調査を行いました。令和3年、令和4年と郵便局に着目した調査を行ってきた福島大学行政政策学類の学生たちは、調査結果をまとめて11月に奥川支所で発表会を行いました。



調査結果の発表会

大学生と地域の皆さんが、西会津町の未来について一緒に考える貴重な機会であり、私個人にとってもいろいろと気付きのある素敵な発表会でした。

初めて大雪体験

郡山市で生まれ育った私は、靴が埋まるような積雪をほとんど経験したことがありませんでした。そんな中で、西会津町に移住して初めての冬、昨年12月中旬のいきなりの大雪に驚きました。



雪が積もった集落支援拠点施設「結」

長靴でさえ埋まるほどの積雪で雪かきは大変でしたが、別の国に来たようで、日常のちょっとした出来事が新鮮で刺激的に思えます。あえて冬に期待する大学生も多いことから、この雪をどう活用して楽しむかを考えるようになりました。

令和5年を迎えて

令和4年は町内の各種イベントや外部の大学生との交流など怒涛の1年でした。その中で多くの経験・地域を育むことができた「育」の年でした。罫の狩猟免許や野菜ソムリエなど、資格の取得にも力を入れることができ、僅かではありますスキルアップできたと思っています。

令和5年は年明け早々から大学生の受け入れを予定しています。集落にとって地域活性化の一つのカギとなる「若い力」達を一人でも多くりたいと思います。

現在の大学生の受け入れは奥川地区での活動が中心となつていますが、少しずつ少しずつ、他の地区にも学生の若い力を生かせる場所を拡大していきたいと思っています。

微力ではありますが、西会津町を少しでもハッピーな町にできるよう努めていきたいと思っておりますので、今年もどうぞよろしくお願ひします。